

すみずみまで本を届ける事業

長崎県 平戸市立平戸図書館

基本データ

所在地	長崎県平戸市岩の上町 1458番地2
職員数	13人
うち司書数	7人
蔵書数	約136,000冊
利用登録者数	約15,000人
年間貸出冊数	約173,000冊 (児童用図書貸出数 約79,000冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 平戸市は、南北に長い島の地形や離島を抱える状況から、図書館へのアクセスに不利な地域住民が多く存在する。そこで、市内全域へ図書館サービスを広げ、また平戸市の未来を担う子どもたちに情報や読書環境を届けようと、平成28年度からこの事業を開始した。
- こうした市民への利用援助のほか、子育て支援・高齢者支援・産業支援などで地域へ出向いたり、「出張図書館」として、市内の行事や研修会・講座・サークル活動など、人が集まる場所へ、目的に合わせた本を持参し、図書館サービスを行っている。
- また、市内の小中学校および学校図書館の支援として、毎月の配本や読書集会・授業への参加、教材資料の提供などを行い、連携を図っている。

取組・活動の概要

【対象】

- 市内小中学校、幼稚園、保育園、こども園、学童施設、社会福祉協議会、老健施設、郵便局、営農経済センター、漁協、まちづくり協議会等、市内各地の開催イベント。

【頻度】

- 原則月1回、イベント等随時。

【時期】

- 通年。

【取組・活動内容】

- 平戸図書館と、市内のもう一つの公立図書館・永田記念図書館を中心に、公民館図書室・小中学校・こども園・福祉施設などに毎月配本している。
- 毎月配本のため、常に次月のための資料を選書し、配本棚に保管している。
- また、図書館から遠い地域の郵便局・漁協・農業関係各所にサービスポイントを設け、定期的に巡回し、市内全域に、配本や貸出・返却等の図書館サービスを届けている。各地の行事・イベントへ出向き、出張図書館も行っている。



小学校・国語授業でのブックトーク



学童施設・読み聞かせ



イベント・出張図書館（生月町白月市）



イベント・出張図書館（田平町つばき物産展）

利用状況・意見等についてのアンケートを実施したところ、配本期間中の1か月間に本の複数回の利用があることや、各校・事業所の利用者目線での選書に対する好意的な意見が寄せられた。

- 今後も、市民の意見を取り入れ、図書館を、より身近に感じてもらえるよう工夫しながら事業を行っていく。

取組・活動の工夫や特徴

- 「待つ図書館から飛び出す図書館へ」をコンセプトに、この事業を開始したが、特に、地域の行事・イベント等へ出向いての出張図書館は、初めは市民に理解してもらうことが難しく、「本は売り物なのか」「無料配布なのか」などの声もあった。地道に活動を続けた結果、今では、出張図書館を目当てにイベントへ来場する利用者も多く存在する。
- 地域のサービスポイントとなる事業所は、もともと地元住民との関係も良好なので、初めから、本の貸出・返却等もスムーズに行われている。
- 学校も、本を持参するそばから子どもたちが駆け寄ってくるところもあり、本の到着を心待ちにしている様子がうかがえる。

取組・活動の成果や今後の展望

- この事業開始後、利用者から、地域の行事・イベント等での活動への励ましの声や、近所で本を借りられることの便利さを耳にする機会が多くなった。
- 学校へも、全教諭に対し、図書館が学校支援をすることを伝えており、調べ学習等の授業依頼も多くなっている。
- また、学校・事業所に対し、配本している本の